

今回頂いた賞を励みにますます研究に邁進し、分子の個性を活かしながら分子性単結晶という機構解明に理想的な系を舞台にして根底に横たわる学理を追究することで、無加湿燃料電池等の実用に足る次世代材料の開発に繋がるだけでなく、固体中水素にまつわる物性科学の未到領域の開拓にも繋がると期待しています。

最後に、本研究の遂行にあたり、森教授・西岡氏(M2)をはじめ、金沢大学の水野教授、筑波大学の重田教授・堀助教、東大新領域の植村教授・北尾助教にお世話になりました。この場をお借りして深く感謝申し上げます。

- [1] S. C. Pal and M. C. Das, *Adv. Funct. Mater.* **2021**, 2101584.
- [2] Y. Sunairi *et al.*, *J. Phys. Chem. C* **2018**, *122*, 11623.
- [3] Y. Sunairi *et al.*, *J. Phys. Soc. Jpn.* **2020**, *89*, 051008.
- [4] Y. Hori *et al.*, *J. Phys. Chem. Lett.* **2021**, *12*, 5390.
- [5] S. Dekura *et al.*, *Solid State Ionics* **2021**, *372*, 115775.

